

伊平屋空港 P I (ステップ 1) の実施状況について

(1) P I ステップ 1 の情報提供及び意見収集方法

伊平屋空港の P I 活動 (ステップ 1) の実施状況を以下に示す。情報提供及び意見収集活動において、P I 実施計画書で定めた手法に加え、マスコミへの情報提供や地元への防災無線による放送も実施された。

周知・広報

手法	内容		「PI実施計画書」との対比	
周知・ 広報	(1)行政広報誌への記事掲載	3誌・3回	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県広報誌「美ら島沖縄」(8月号) ○伊平屋村広報誌「広報いへや」(7月号) ○伊是名村広報誌「広報いぜな」(7月号) 	計画通り実施
	(2)ポスターの掲示	124枚掲示 掲示期間:7/18~	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県、伊平屋村、伊是名村等の行政関係公共施設 :70枚 ○港ターミナル等公共施設 :12枚 ○伊平屋村、伊是名村関係団体施設等 :32枚 ○説明会会場 :5枚 ○航空会社(RAC) :5枚 	計画通り実施
	(3)ホームページへの情報掲載	掲載期間:7/18~7/31	<ul style="list-style-type: none"> ○沖縄県土木建設部空港課ホームページに掲載 ○伊平屋村・伊是名村ホームページに掲載 ○上記はPI活動終了時まで継続して掲載 	計画通り実施
	(4)マスコミへの情報提供	1回	○定例記者懇談会において新聞社、テレビ局等へ説明(7/25)	追加実施
	(5)地元の防災無線による放送	随時(説明会開催案内)	<ul style="list-style-type: none"> ○伊平屋村 ○伊是名村 	追加実施

情報提供・意見収集

手法	内容		「PI実施計画書」 との対比
(6)調査報告書の配布	3,477部	○沖縄県、伊平屋村、伊是名村等の行政関係公共施設 :1,267部 ○港ターミナル等公共施設 :600部 ○伊平屋村、伊是名村関係団体等 :1,522部 ○説明会時配布 :88部	計画通り実施
(7)パネル展示	7ヶ所 (延べ35日)	○沖縄県庁1階県民ホール :7/31～8/4 ○運天港 伊是名フェリー発券所 :7/31～8/4 ○前泊港 旅客ターミナル :8/7～8/11 ○仲田港 旅客ターミナル :8/7～8/11 ○伊平屋村役場 :8/14～8/18 ○伊是名村役場 :8/14～8/18 ○運天港 伊平屋フェリー発券所 :8/21～8/25	計画通り実施
(8)ホームページへの情報掲載	掲載期間:8/1～8/31	○沖縄県土木建築部空港課ホームページに掲載 ○伊平屋村・伊是名村ホームページに掲載 ○上記はPI活動終了時まで継続して掲載	計画通り実施
(9)説明会の実施	2ヶ所・2回	○伊平屋村離島振興総合センター :8/14 ○伊是名村産業支援センター :8/15 ※当初8/9、8/10の両日に実施する予定であったが、台風の影響により上記日程に変更となった。	計画通り実施
(10)意見収集	収集期間:8/1～8/31	○ハガキ(郵送)による意見収集 :281件 ○ホームページから意見収集 :3件 ○説明会時に意見収集 :78件 アンケート回答件数 計 :362件 ※アンケート回答者数のうち、自由意見回答者数:237名(意見数:318件)	計画通り実施

ステップ1で情報提供した内容

提供情報の項目	提供情報の内容等
「空港整備の必要性」に関する情報	同地域と那覇が航空で結ばれることで、期待される効果はどのようなものがあるかなど、空港整備の必要性を判断する上で必要な情報。
「候補地」に関する情報	いつから空港整備に対する要望があったのか、候補地はどのように選定されたのか、空港とはどんな施設なのか、などに関する情報。

(2) P I ステップ 1 の情報提供活動と意見の収集状況
活動の結果

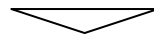
情報提供活動

P I 実施期間中に、行政機関の公共施設や説明会会場での配布等により、「調査報告書」が 3,477 部受け取られた。特に、伊平屋村及び伊是名村においては全住戸で「調査報告書」が受け取られた。

伊平屋村及び伊是名村で開催した説明会には合わせて 81 人が参加した。

伊平屋村、伊是名村及び沖縄県内の 7 ヶ所（延べ 35 日間）においてパネル展示会により情報が周知された。

新聞（2 紙）及びテレビのニュース（同日の夕方と夜の 2 回）において取り上げられた。



意見の収集状況

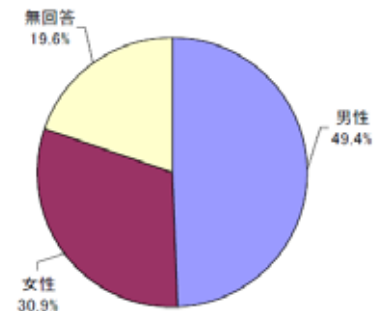
アンケート収集件数は 362 件であり、そのうち、自由意見回答者数は 237 名（意見数：318 件）であった。

意見提供者の属性

362 件のアンケート結果から、情報を提供できた方々の属性は以下のとおりである。

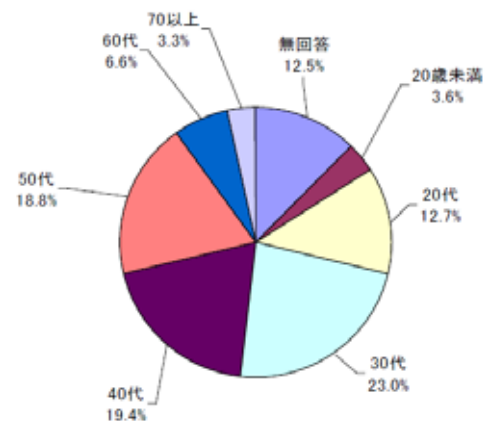
1) 性別

回答者のうち男性が 49%、女性が 31%、無回答が 20%であった。



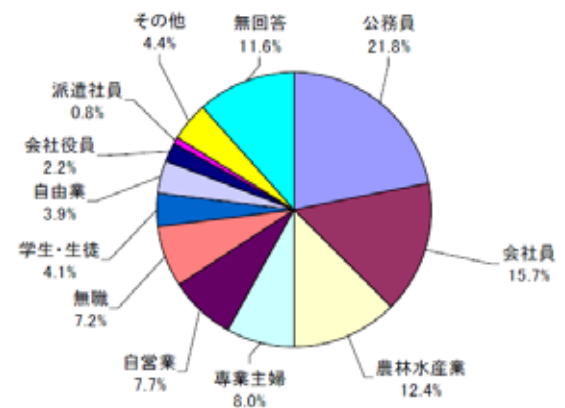
2) 年齢

30 歳代、40 歳及び 50 歳台が概ね 20%ずつを占め、20 歳代も 13%程度であり、回答者の年齢層について、大きな偏りはなかった。



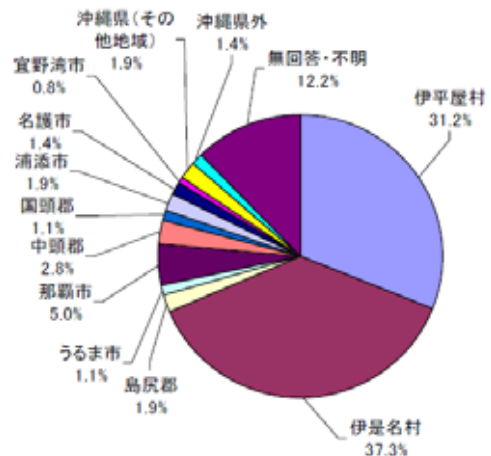
3) 職業

公務員、会社員、農林水産業、専業主婦がそれぞれ 10% ~ 20%を占め、回答者の職業についても大きな偏りはなかった。



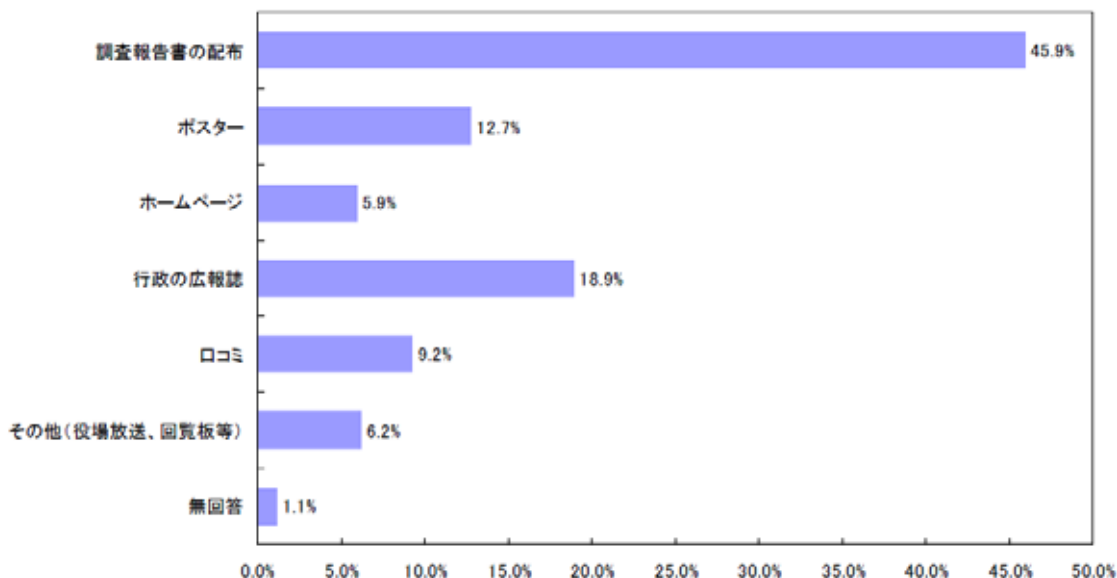
4) 居住地

伊平屋・伊是名村の居住者が全体の約 7 割を占める。その他、全体の約 2 割が沖縄県内他地域の居住者であり、県外者は 1.4%であった。



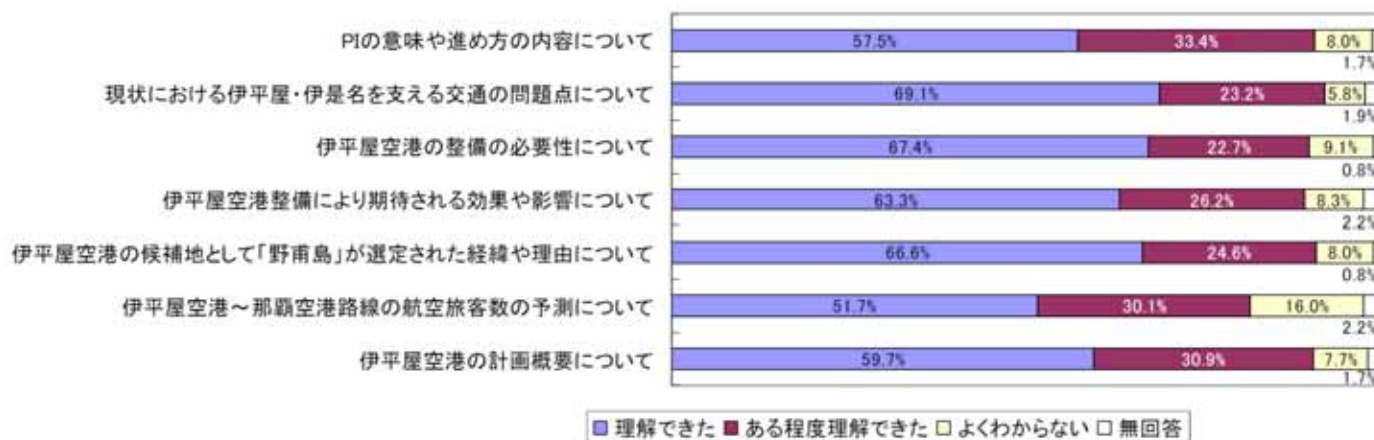
PI参加者がPI活動の開始を知った情報メディア

PI活動の開始を知った情報メディアは、沖縄県内・外居住者ともに、調査報告書の配布が45.9%と最も多く、次いで行政の広報誌が18.4%、ポスターが12.7%であった。



「伊平屋空港の調査報告書1」に関する理解度(アンケート結果)

PIステップ1で情報提供した「伊平屋空港の調査報告書1」に関する理解度については、アンケートの結果、「航空旅客数の予測について」を除く全ての項目について、「理解できた」、「ある程度理解できた」と回答した人の合計が、概ね9割程度であった。



(3) 情報提供及び意見収集方法等に関する助言等

PIステップ1の実施記録では、「PI実施計画書」に基づくPI活動の実施と、新聞等を活用した周知・広報活動の強化に努めた結果、「調査報告書」に関して伊平屋・伊是名村民を中心とする幅広いPI対象者の理解が概ね得られたとしている。

一方、PI活動に関する課題として、以下の2点をあげている。

「調査報告書」の配布、行政広報誌への記事掲載、ポスターの順で周知効果が高いという結果が得られており、ステップ2においては、このことを留意し、さらに有効的な周知活動に努める。

PI(ステップ2)では、空港整備計画や費用対効果など、専門的な内容について意見収集を行うことから、PI対象者の理解度が深まるよう、よりわかりやすい情報提供に努める。

また、「伊平屋空港PI評価委員会」からは、PIステップ1の活動結果を踏まえ、以下の4項目の助言を頂いている。

寄せられた自由意見は、何らかの形で一般にも見られるようにする必要がある。

PI実施報告書の概要版を作成し、伊平屋村・伊是名村の住民に配布する必要がある。

各種イベントと組み合わせるなど、多くの方々がPIに参加しやすい期間や時期を検討する必要がある。

地元住民主体の組織を結成し、イベントを企画するなど、より多くの住民意見を吸い上げるための取り組みを検討すべき。